

第3回 岡山県西部衛生施設組合新ごみ焼却施設事業者選定委員会 議事録

開催日時：令和3年6月28日（月）14：00～15：55

開催場所：笠岡市役所 3階 第1会議室

1 開会

2 委員長挨拶

事業者選定委員会委員長の川本教授より挨拶をいただいた。

3 議題（1）入札説明書（案）について

【質問・回答等】

委員：建築物の設計・施工を行う者の要件における設計・施工とは、管理棟や焼却施設の建屋と捉えて良いか。

事務局：お見込みのとおりである。

委員：各業務を行う者の要件のうち、「本施設の建築物の設計・施工を行う者の要件」における類似の建設工事は具体的にどのようなものを示すのか。

事務局：ごみ処理施設の特徴である、ごみピット等の地下構造物の施工実績を示す。入札参加者が広く参加できるよう、同種又は類似施設としている。

委員：本施設の運営を行う者の要件において、主たる業務を「運転管理業務」または「維持管理業務」とし、現場総括責任者に求める実績は運転管理業務としている。入札参加者が誤解しないような記載としてほしい。

事務局：運転管理業務と維持管理業務を実施する者が別会社の場合、どちらの業務を担う会社からでも現場統括責任者を配置することができるよう、条件を縛らない記載としている。一度記載内容を整理する。

委員：委員の構成及び名称を記載する必要があるか。

事務局：PFI 事業実施プロセスに関するガイドラインに則り、委員名を公表している。また、委員と接触することは違反となるため、委員名を明らかにしている。

委員：PFI 法（民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律）の趣旨は公平性及び透明性を確保するということであり、多くの事例で委員の名前は公表している。

委員：行政委員が異動となった場合は、入札説明書を修正するか。

事務局：入札説明書の修正は想定していない。

3 議題（2）落札者決定基準書（案）について

【質問・回答等】

委員：採点方法について、個別採点方式による採点を行った場合、各委員にて採点をする際に見逃し項目等があることで点数に差がでることが懸念される。採点時の見逃しを避けるため、事前に組合案をご提示いただき、その案について合議採点方式を実施したほうが効率的ではないか。

事務局：各委員において評価の妥当等について確認するため、事務局にて入札提案書の提案をまと

めた見どころ表を配布する。また、要望がある場合はヒアリングを実施する前に専門的な部分について勉強会を開催し、再度評価していただく手順を想定している。

委員：合議採点方式の場合は、声の大きい人の意見に引っ張られるところがあるが、個別採点方式の場合は各委員の評価の平均値を用いるため、各委員の個性を反映することになる。

**【意見】**

委員：入札参加者が過度な提案を実施した場合の評価方法を検討してほしい。

3 議題（3）その他 白煙防止装置について

**【決定事項】**

➤ 白煙防止装置は設置しない。

**【連絡等】**

事務局：第4回委員会は7月27日（火）に笠岡市役所第1会議室で実施する予定である。

4 閉会

以上